

とちぎ版文化プログラム〔概要版〕

～つなぐ文化 輝くとちぎ 東京2020大会の先へ～

1. とちぎ版文化プログラム策定の背景

オリンピックは、「スポーツの祭典」であると同時に「文化の祭典」でもあります。次の開催国である我が国でも、組織委員会による文化オリンピックアードの認証制度の創設をはじめ、文化プログラム実施に向けた全国的な機運醸成を図るための取組が始まりました。

2. とちぎ版文化プログラムの位置づけと目的等

【1】プログラムの位置づけ

本プログラムは、栃木県重点戦略「とちぎ元気発信プラン」に掲げる「とちぎの文化創造プロジェクト」に基づき、東京2020大会の開催に向けて県を挙げて取り組む、本県文化の振興方針となるものです。

また、「東京オリンピック・パラリンピック等に向けたとちぎビジョン」を踏まえ、全国的な文化プログラムとの連携に努めるなど、東京2020大会の成功に積極的に貢献するとともに、「栃木県文化振興基本計画」の更なる推進を図るため、各種文化振興施策について具体的に示したものです。

【2】プログラム推進の目的

多くの外国人の来日が見込まれる東京2020大会を絶好の機会と捉え、多くの県民に文化活動を通してオリンピック・パラリンピックへの参加を促すとともに、とちぎの魅力ある文化を国内外に発信しつつ、文化の底上げを図り、地域の活性化に繋げることが必要であると考えています。

そのため、以下の2つを目的にプログラムを推進していきます。

I とちぎの魅力ある文化を通じ、全国的な文化プログラムの成功、ひいては東京2020大会の成功に積極的に貢献すること。

II 東京2020大会を契機とし、本県文化芸術の更なる振興を図るとともに、文化による地域の活性化を図ること。

【3】展開期間等

展開期間は、平成29年度から大会開催の平成32年度までとしますが、平成34年に本県で開催する国民体育大会・全国障害者スポーツ大会など、東京2020大会以降も見据えながら、本県の文化振興のためのレガシーを継承できるように取り組んでいきます。

3. プログラム推進の基本的な考え方

「東京2020アクション&レガシープラン2016」等の考え方に呼应し、様々な主体と、より多くの人々を巻き込み、参加と連携、交流を促し、国等が行う事業の活用などの可能性も探りながら、全県的な機運の醸成を図り、レガシーの創出・継承に繋げていきます。

【1】東京2020文化オリンピックアード等のコンセプトの尊重

【2】オールとちぎによる推進

【3】国等との連携による効果的な事業展開

【4】レガシーの創出及び継承

4. 文化をめぐる本県の現状

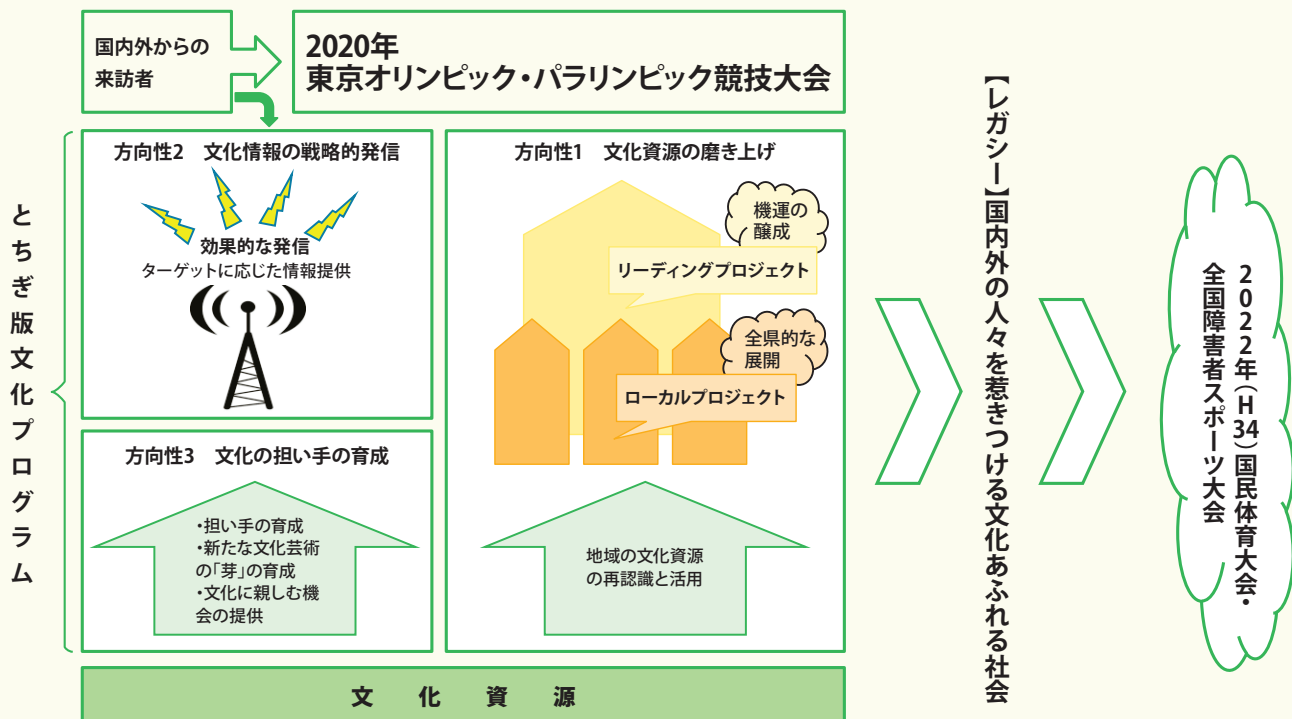
- [1] 高いポテンシャルの文化資源が豊富
- [2] 文化資源の継承と活用が必要
- [3] 文化情報の多言語化や効果的な発信が必要
- [4] 文化の担い手確保が課題
- [5] 文化プログラムへの参画に向けた機運醸成が必要

5. 取組の方向性

文化をめぐる本県の現状を踏まえながら、県民に文化活動を通じたオリンピック・パラリンピックへの参加を促し、本プログラムの目的である、東京2020大会の成功に貢献するとともに、オリンピック・パラリンピックを契機とした、本県文化の振興と地域の活性化が図れるよう、以下のとおり方向性を定め、取組を進めていきます。

方向性1 文化資源の磨き上げ	方向性2 文化情報の戦略的発信	方向性3 文化の担い手の育成
<p>県が実施するリーディングプロジェクトを推進していくことで、各地域で展開されるローカルプロジェクトを促進し、文化によるオリンピック・パラリンピックへの参加機運の醸成と、文化活動の全県的な活性化を図ります。また、地域の文化資源の再認識を図り、その保存と継承に努めるとともに、効果的に活用していきます。</p>	<p>本県の文化関連情報を一元的に発信できる、利便性の高いプラットフォームを構築するほか、各種イベントや多様な媒体の活用、外国人をターゲットにした情報提供など、戦略的な発信に取り組んでいきます。</p>	<p>学校や地域における学びや、身近に文化に親しむ機会などを通して、伝統文化等をはじめ文化の担い手を育成します。また、新たなジャンルの文化活動の支援や、若手芸術家の育成にも取り組んでいきます。</p>

《事業展開のイメージ》



6. とちぎ版文化プログラムの展開

以下の施策体系により、積極的に展開していきます。

《とちぎ版文化プログラムの施策体系》

〔方向性1〕

文化資源の磨き上げ

基本施策1 リーディングプロジェクトの推進

①「統一テーマ」を設定した文化事業の展開

②文化の要素を加えた各種イベントの推進

③国や他県等と連携した事業の展開

基本施策2 全県的なローカルプロジェクトの促進

①ローカルプロジェクトを牽引するモデル事業の支援

②文化オリンピック等の認証取得の促進

③ローカルプロジェクトの相談窓口の設置

基本施策3 地域の文化資源の再認識と活用

①文化資源の再認識

②文化資源の保存と活用

〔方向性2〕

文化情報の戦略的発信

基本施策1 効果的な文化情報の発信

①利便性の高い文化情報プラットフォームの構築

②各種イベント等の機会を活用した効果的な情報発信

③多様な媒体を活用した文化の発信

基本施策2 ターゲットに応じた情報の提供等

①外国人向けの情報発信の強化

②障害者や高齢者等に配慮した文化情報の提供

〔方向性3〕

文化の担い手の育成

基本施策1 地域の文化を支える担い手の育成

①伝統文化等を保存・継承する担い手の育成と活動の支援

②学びを通じた地域の文化の理解促進と担い手の育成

基本施策2 新たな文化芸術の「芽」の育成

①新たなジャンルの文化活動の促進

②次代を担う若手芸術家の育成

基本施策3 文化に親しむ機会の提供

①文化に身近に触れる機会の提供

②様々な人々の参加と多様な交流の促進

③技術やモチベーション向上のための発表機会の提供

7. 文化プログラムの展開スケジュール

《文化プログラムの事業計画イメージ》



●編集発行 栃木県

〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20 県民生活部県民文化課

TEL 028-623-2153 FAX 028-623-2121

E-mail bunkashinko@pref.tochigi.lg.jp

※本プログラムの全文は県ホームページに掲載されています。

URL http://www.pref.tochigi.lg.jp/c01/bunka/bunka_program/program.html